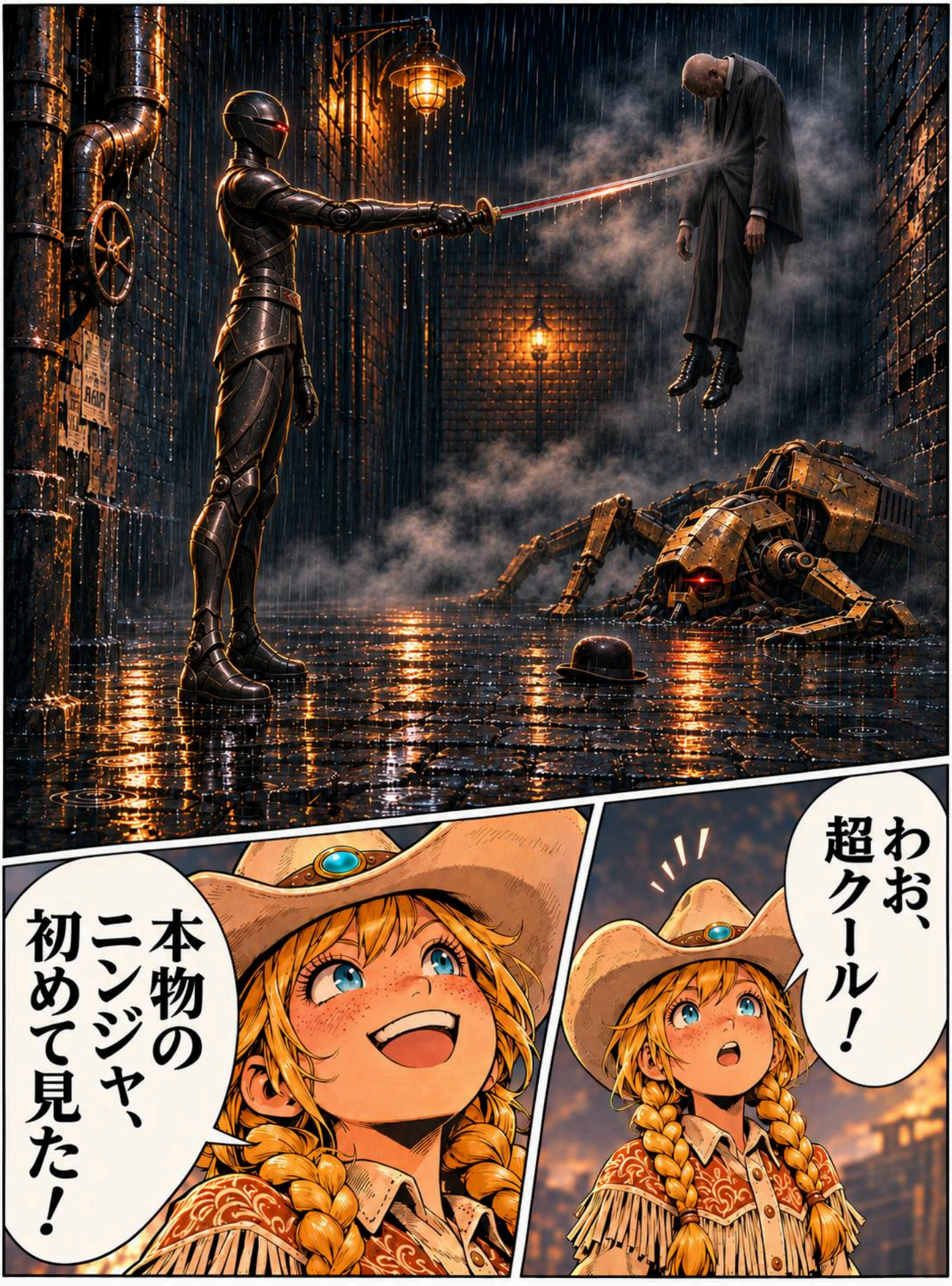

ガンズ・アンド・シッスル
第4話
犬たちと横になれば、
ノミとともに目を覚ます
サンドクリークの
裏通りに、
男の悲鳴が響いた。
ぎゃあああッ
リベルタは足を止め、
声のした路地を覗いた。

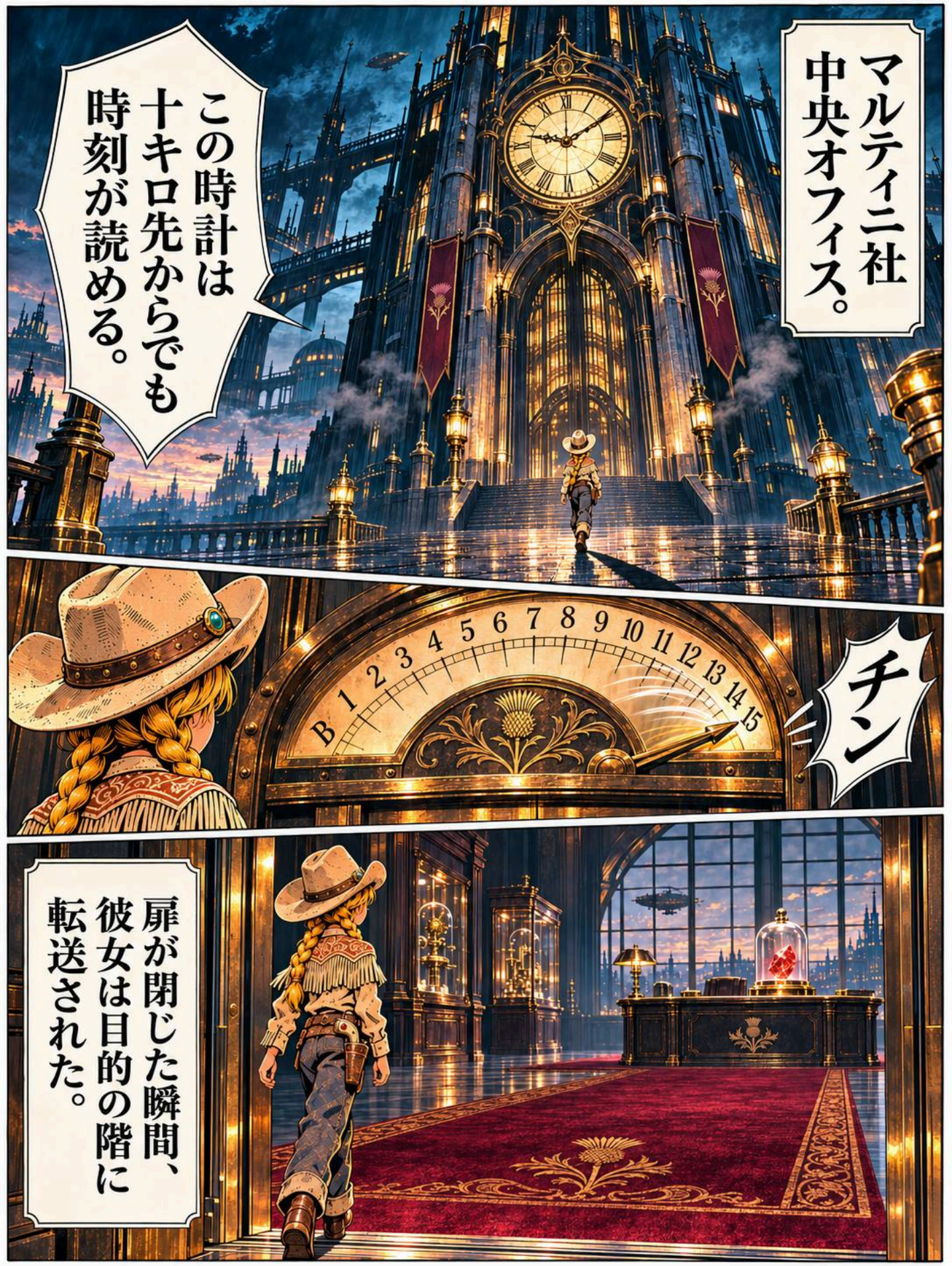

わお、超クール！
本物のニンジャ、初めて見た！

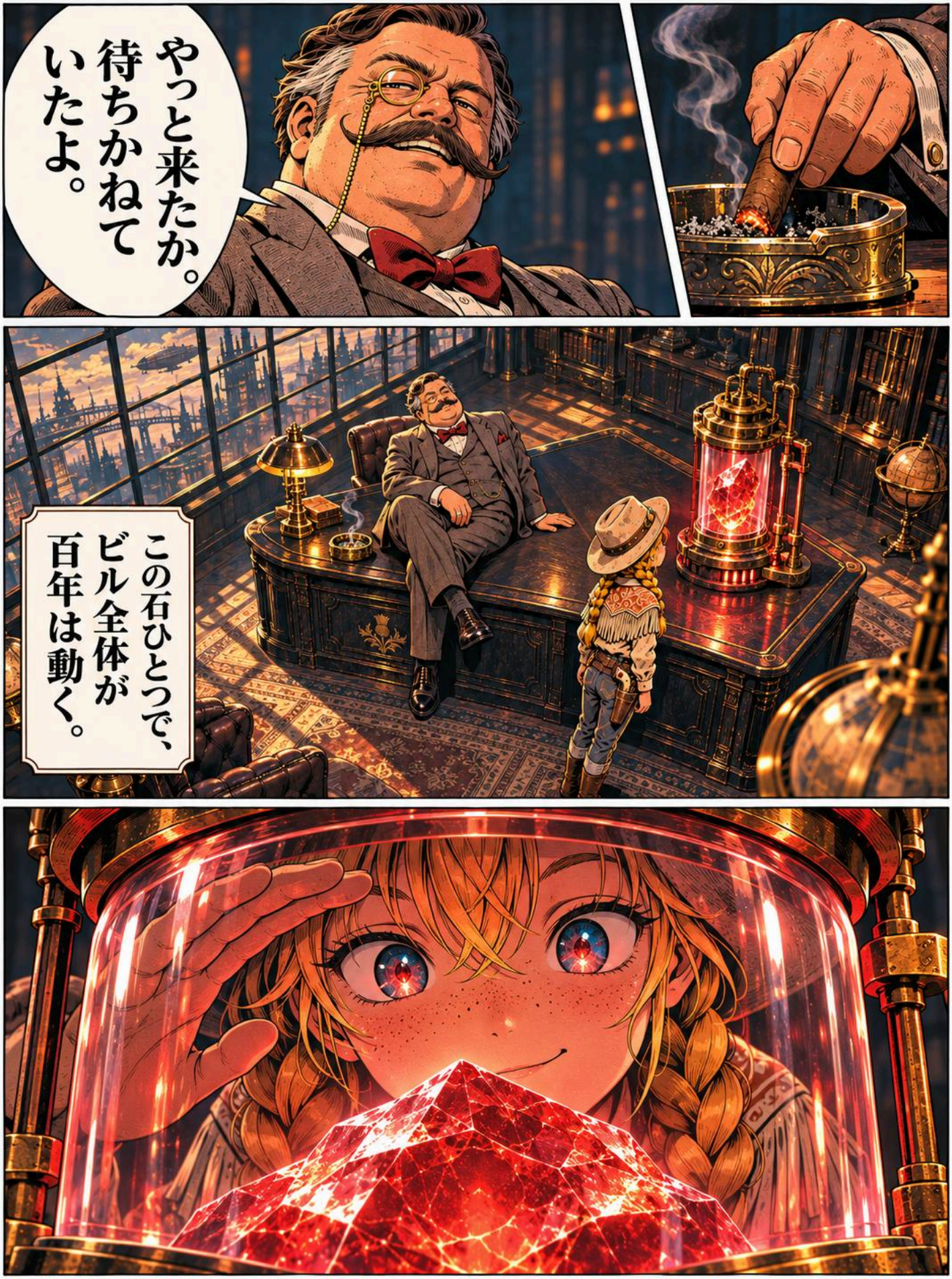

タタラ社の高級品ダ。例の殺人鬼で間違イない
どうスんダ？ここデヤるのか？
さぁ、あいつの出方次第！
マルティニの者ではないな？ワタシの邪魔をするな
ZEROは男の頭皮を切り開いた。
なにしてんの、あれ……
社員の頭部皮下にはライン端末がある。あれを奪ってるんじゃないカ？


もう一度だけ言う。
ワタシの邪魔を
するな、カウガール
ねぇ、
あんた
名前は？
カウガールに
名を聞かれるのは
初めてだ
ワタシは
ZERO……
ZERO-NEMOだ


シュウウッ


すっごーい！
煙幕！
煙幕だよ！
違うンじゃないカナ……


マルティニ社
中央オフィス。
この時計は
十キロ先からでも
時刻が読める。
チン
B 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
扉が閉じた瞬間、
彼女は目的の階に
転送された。


やっと来たか。
待ちかねていたよ。
この石ひとつで、
ビル全体が
百年は動く。


先のシェイズ戦争では、君のお父上のドレッドホーク君と共に戦ったよ
彼は本物の英雄だ
あたしもパパと一緒に居たんだけど
おおぅ……それじゃあ私たちは戦友だ。素晴らしい！


確か
お宝探しって
聞いたけど
そう。
君には
アナグマに
なって
もらう
は？
アナグマ？
ふむ、
気にしない
でくれ
五十六時間前、
信憑性の高い
噂を耳にした


郊外の先住民の遺跡に、これが隠されているらしい
……それ何？
我々にとっては重要なものだ。詮索はなしだよ


どうして
わざわざ
私を使うの？
あの古臭い
スーツの兵士を
使えば
いいじゃん
我が兵士たちは、
もうすぐ
行われる作戦で
ふさがっていてね
不法居住者を
スラムから
排除するんだ


あのスラム？大勢人が居るのに？
やつらは人の形をしたネズミさ。株主からも対策を求められている
仇敵ダレル社もきな臭い。さっさと済ませたいのだよ

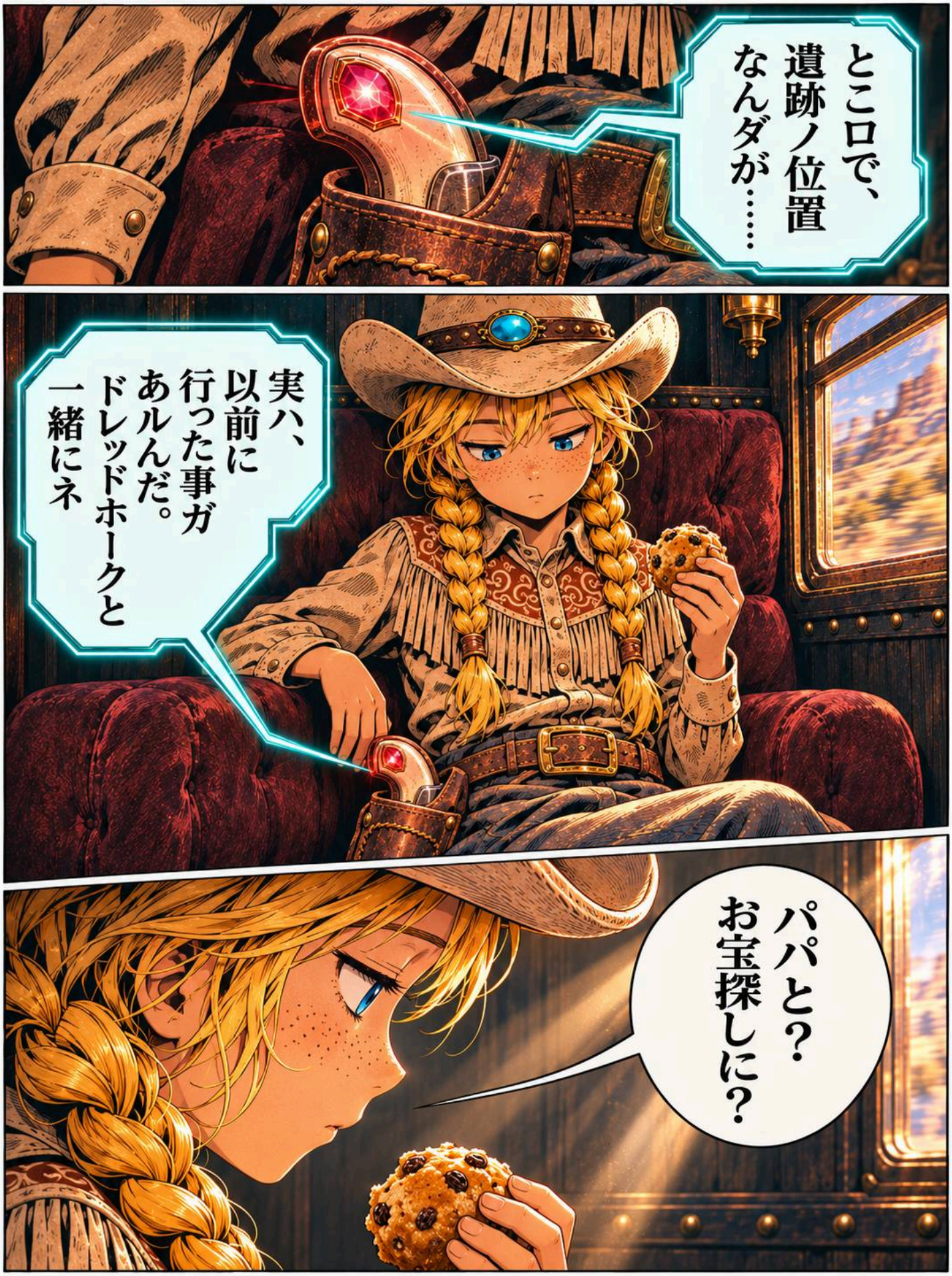

で、報酬は？
なんと、わが社の株を百株！
お金にしてよ、お金に。もしくは、あのでっかい石！
株主は貴族だ。土地も持てる！私は一万株だぞ
あの石は会社のものだ。私の年収よりずっと高い

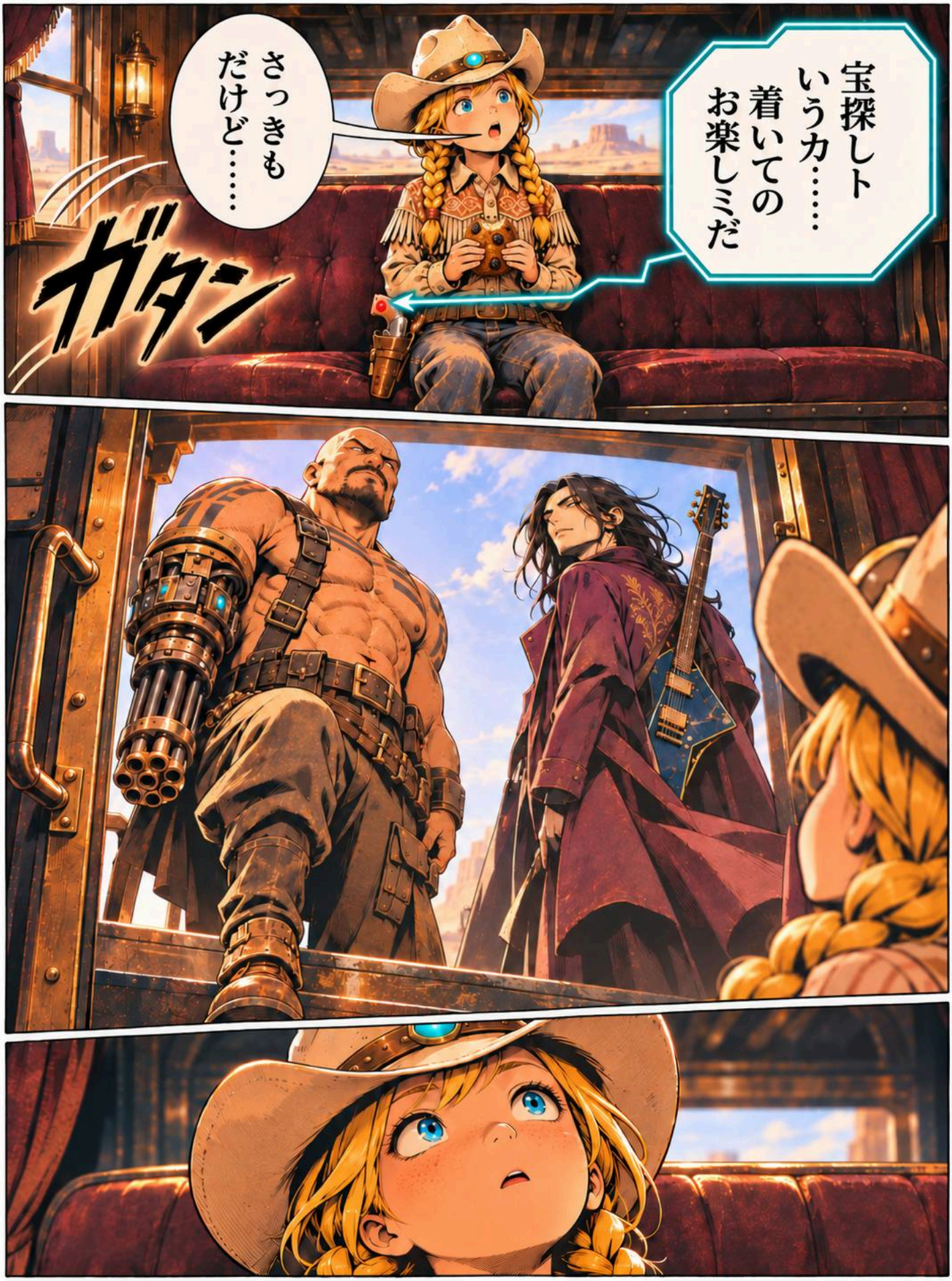

土地とか
権利とか
言われても、
ぜんぜん
興味ないん
ですけど

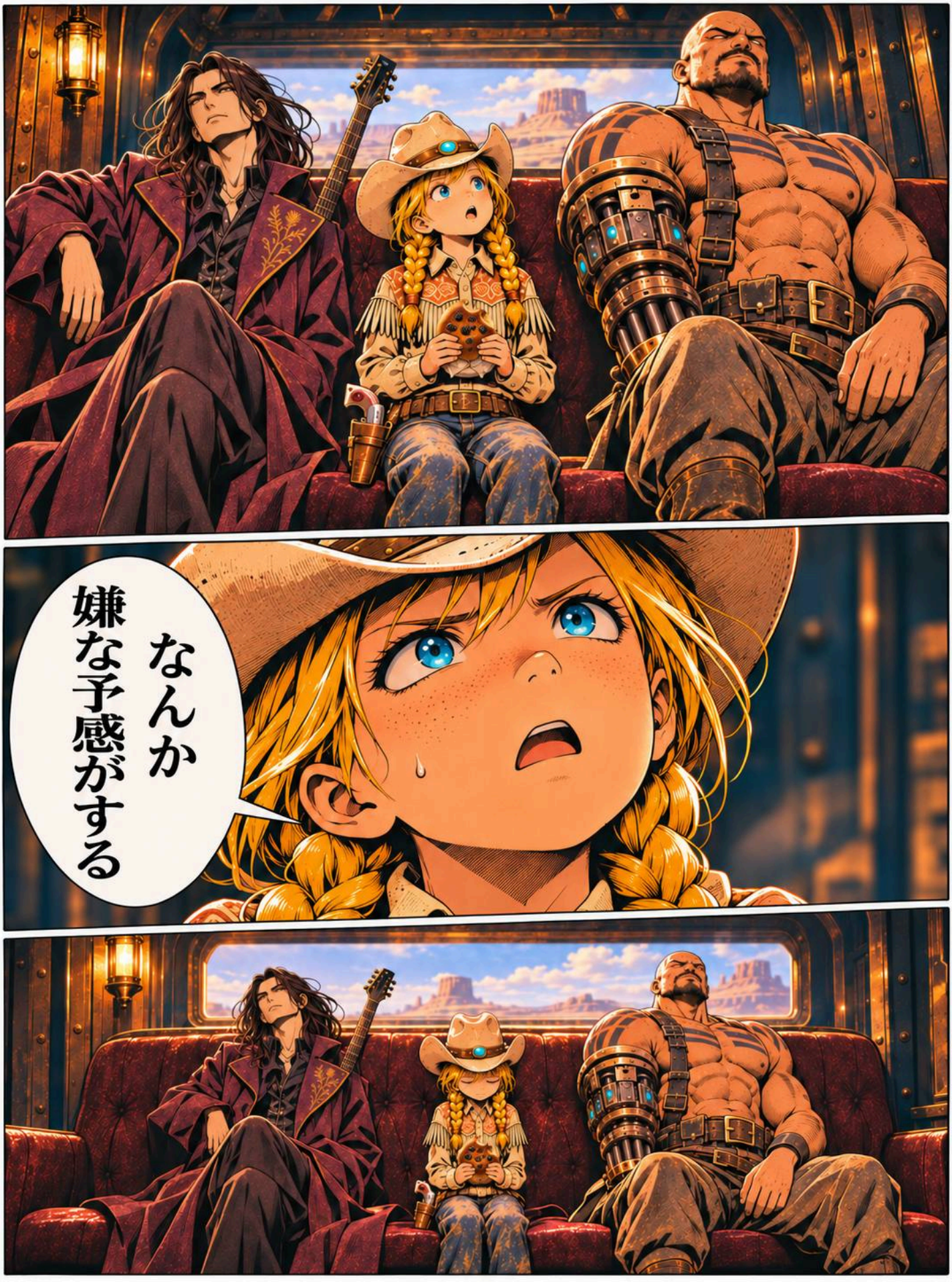

仕方ない。
相応の金を
用意しよう


必ず
持ち帰り
たまえ、
リトル
レディホーク

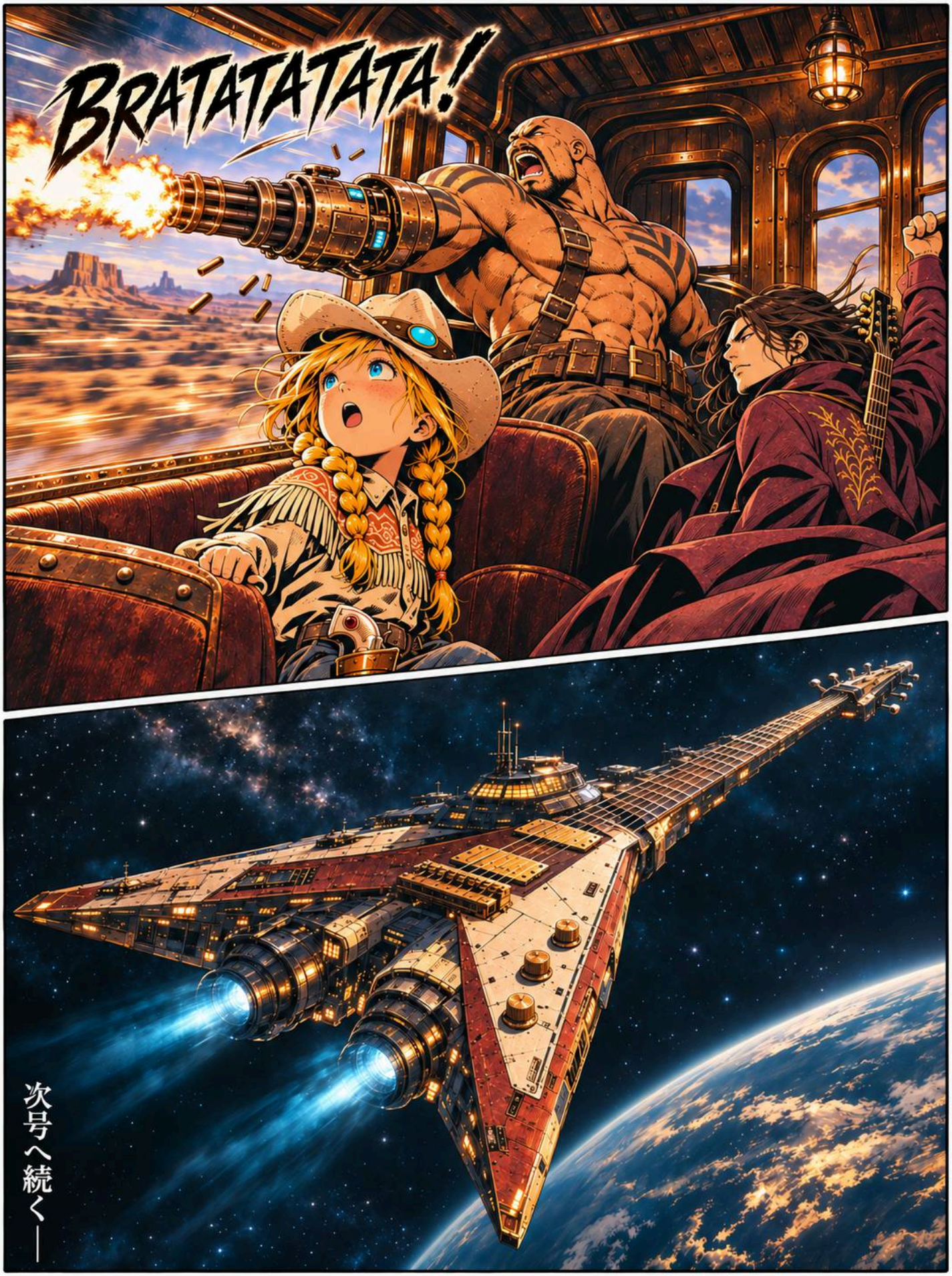

結局、
ひと晩も
眠っていない。
やれやれー。
めんどくさそうな
仕事だね、
グリップ君。
仕事なんて
ものは
ミンな
そうサ。


とこロで、
遺跡ノ位置
なんダが……
実ハ、
以前に
行った事ガ
あルんだ。
ドレッドホークと
一緒にネ
パパと？
お宝探しに？


宝探しというカ……着いてのお楽しミだ
さっきもだけど……
ガタン


なんか
嫌な予感がする


次回予告！
どこまでいくの？三人とも、お仲間？
……
ああ、ちょいとこの先までさ
お嬢ちゃんこそ、こんな所に一人で居るのかい？


BRATATATATA!
次号へ続く―